



おいしいぜんざいはいかが（青空市場の初売り）

うたごよみ
― 如月 ―

「短歌」

渡辺幸士 選

線香を灯せば亡夫の甦る煙を見つつ眠るこの
夜
森田 房恵

投稿の歌の一首が出来上がりポストに落ちる
音も軽やか
内田乃武子

忘れることしばしば有りてしみじみと寂しさ
思う吾も老いたり
井上ユリ子

乙女の日の喜び悲しみ知る友の逝きて故郷の
遠くなりたり
上村 かず

緑濃く育つキャベツは真つ白な霜に負けじと
朝陽に光る
吉永由紀子

亡き姉の形見の時計受けし手に命継ぐごと時
を刻めり
内山タミエ

辰年を送りて巳年迎えたり希望に満ちる年で
ありたし
緒方 明美

寒い夜に孫は歩いて逢いに来る嬉しかったり
心配したり
赤星 文子

あと三年無事に生きると夫が買う連続日記本
日届く
塚原 暁益

老いし身も体動かし酷寒の師走乗り越え新年
を待つ
本田富美子

真心で娘夫婦は介護するその愛情は海より深
し
松本ぬい子

巫女の手より受けし御神籤「吉」とありこの
一年の幸福思う
渡辺 幸士

「川柳」

渡辺幸士 選

「年賀状」

年賀状友との絆確かめる
林 雅之

梅干しに似てきた妻に賀状来る
早 彦喜

転倒し年賀状書く元氣失せ
松本ぬい子

「いつも」

忘れ物いつもの事で恥ずかしい
古閑チヨミ

子や孫がいつも優しく眼に浮かぶ
布田 愛子

皺増えてもいつも心は前を向く
伊豆野ヤエ

嫌な奴いつも同じ世辞を言う
渡辺 幸士

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
☎096・234・2447（内線321）